

さいがいはっせい

災害発生！

かじ 火事だ！ じしん 地震だ！ おおあめ 大雨だ！

きみならどうする？



とにかく、^{あわ}慌てず^お落ち着いて^っ行動しよう！^{こうどう}

自分たちだけでどうにかしようとしないで、
まわりの大人^{おとな}にたすけをよぼう！

ふだんから家族^{かぞく}と待ち合わせの場所^{ばしょ}をきめておこう。



^{さいがいはっせい}災害発生！そのとききみは！？

^{かじ}火事だ！
調子^{ちょうし}にのって火や煙^{けむり}に近づかない。
煙^{けむり}からは低い姿勢^{ひく しせい}で逃げよう。
自分たちで火を消そうとしない。

^{じしん}地震だ！



揺れが収まるまで「ダンゴムシのポーズ」(頭を守る姿勢)をしよう。
靴をはこう。落ちてる物は触らない・拾わない。
ガラスや壁、電線など倒れたり落ちてきそうなところは避けよう。
橋やマンホールなど、足下に注意しよう。
海に近いところにいるときは、高い場所に急いで避難しよう。

川や用水路を見に行かない。
そもそも、出歩かない。
丈夫な建物に避難しよう。

^{おおあめ}大雨だ！

普段から災害が起きたときのことを考えてみよう！

家に居るとき、通学しているとき、学校で勉強しているとき、遊びに出かけているとき、
「きみならどうする？」かを家族の人や学校の先生と話しをしてみよう。

